

Anata in Bolivia アタボルビ

アンデスから届けよう喜びの歌

民音創立
60周年記念

あなたを笑顔に
ボリビア音楽のお祭り男たちが再びやってくる！



ダンサー



公演特設サイト

予定曲目

父よ、コンドルは飛んで行く、花祭り、他
※都合により、曲目等を変更する場合がございます。予めご了承ください。

公演日程(2023年)

11月20日[月] 6:30p.m. アルカスSASEBO 大ホール

入場料金: A席 ¥6,000 B席 ¥5,500(税込)

◎お問い合わせ:

MIN-ON佐世保 ☎0956 (22) 3139

主催: MIN-ON

共催: アルカスSASEBO

後援: 在日ボリビア多民族国大使館、
長崎県、佐世保市、佐世保市教育委員会、
(公財)長崎県国際交流協会

制作協力: ラティーナ

◎チケットのお求めは

チケットぴあ(セブン-イレブン) … [Pコード: 240-774]

ローソンチケット… ①WEB <https://l-tike.com/>

②ローソン・ミニストップ店頭Loppi [Lコード: 81699]

イープラス …… <https://eplus.jp/> (ファミリーマート)

アルカスSASEBO ☎0956 (42) 1111

カワシモレコード ☎0956 (22) 4839



Anata Bolivia アナタ・ボリビア

2020年に結成15周年を迎え、さらに進化した
やさしくも逞しきフォルクローレ音楽をお届けします。

嘆きの声を歌に変え、祈りの響きを楽器に託し、喜びや感謝の思いを踊りで爆発させる……アンデス高地から熱帯地域まで、多様な気候風土の影響を受けながら脈々とつむがれてきたボリビアのフォルクローレは、じつに人間臭くて感情豊かだ。民族衣装のように色鮮やか、ちょっと頑固で涙もろい。先住民族の言葉のひとつ、アイマラ語で「アナタ」は「祭り」を意味するという。

ケーナの音色に魅せられフォルクローレを志した秋元広行は、1999年ボリビアへ渡航し、2005年仲間たちと天空の都市ラパスで「アナタ・ボリビア」を結成。現地で快進撃を続け、2010年、11年、13年、15年、17年と過去5度の民音公演で万雷の拍手喝采を浴びている。伝統リズムを尊重しながらも今にアピールするポップなセンスをそなえ、哀愁を帯びた旋律と祭りや宴のにぎわいが見事に共存。ここは天空都市のライブハウスか、はたまた昭和歌謡コーラスのショー会場か!? ボリビア固有の音楽文化をあまねく紹介しながら笑いの要素も決して忘れない、彼らのめくるめくステージには脱帽するばかり。標高3700~4000メートルの高地で鍛えぬかれたメンバーの熱量とパワー、ボリビア愛と日本へのシンパシーを今秋もぜひ見届けて欲しい。

音楽ライター 佐藤由美



アナタ・ボリビアからメッセージ

みなさん、こんにちはアナタ・ボリビアです。

今年民音創立60周年という佳節を迎え、皆様の前で演奏させていただくことを本当に幸せに思っております。新しいメンバーを加え、さらにパワーアップした「アナタ・ボリビア」をどうぞお楽しみください。それでは劇場でお会いしましょう。

PROFILE

2005年、ボリビアで唯一のフォルクローレ外国人歌手「秋元広行」をリーダーとして、ボリビアの首都ラパスの日10月20日に結成。バンド名の「ANATA」とは、「お祭り」という意味で、ボリビア人の「いつまでも遊び心、人生を楽しむ気持ちを忘れない」という気質を表現しています。また、日本語の「あなた」と同じ発音であることから、「あなた一人のために歌い続けよう」という意味も込められています。

2005年~2009年 ボリビア版グラミー賞「シコンボル(CICOMBOL)」において、「最優秀作曲賞」、「最優秀ボーカル曲賞」など様々にノミネート。

2009年 ボリビアのモラレス大統領(当時)出席のボリビア繊維協会にて記念演奏を行う。

ペルーのアレキパ市の国際文化祭にボリビアダンスチーム「ティンクス・ウィストゥス(Los Tinkus Wistus)」と共に参加。

2012年 ボーカルの秋元広行が日本国内閣官房国家戦略大臣より、澤穂希氏、新海誠氏らとともに「世界で活躍し『日本』を発信する日本人」63名に選出。

2017年 阪本順治監督・オダギリジョー主演『エルネスト』のエンディングテーマ『ベニの浜辺で』が映画のエンドロールに使用。

2020年 「ボリビア芸術家協会」よりこれまでの功績をたたえ表彰。

コチャバンパ市のラジオ局「サイワ(Saiwa)」よりこれまでの楽曲をたたえ表彰。

2023年 「ボリビア下院議員議会」よりボリビア文化推進の功績をたたえ表彰。